

令和元年度認知症リンクワーカー養成研修募集要項

1 目的

認知症の人やその家族の不安に寄り添い、必要なサポートを行える専門職（認知症リンクワーカー）を養成することにより、市町村による重層的かつきめ細やかな認知症初期支援体制の構築支援を目的とする。

2 主催

京都府（一般社団法人京都社会福祉士会に委託して実施）

3 対象者及び定員

京都府内に所在または在職し、認知症ケアや在宅ケアの実務・相談業務等に3年以上携わった経験のある専門職【定員30名】

4 研修日時および会場

1日目	日時：令和元年9月5日（木） 9時50分～16時 会場：京都府医師会館6階601会議室（京都市中京区西ノ京東梅尾町6）
2日目	日時：令和元年9月6日（金） 10時～16時10分 会場：京都府医師会館6階601会議室（京都市中京区西ノ京東梅尾町6）

5 研修内容

1日目	①「認知症リンクワーカー制度の概要と役割」 京都府健康福祉部高齢者支援課
	②「10のアイメッセージの意義と認知症リンクワーカー」 松本善則氏（公益社団法人京都府介護支援専門員会副会長）
	③「認知症リンクワーカー養成研修から学んだ実践」 三藤志津枝氏（京都認知症総合センタークリニック看護師）
	④「認知症の人と家族のこころの理解」 加藤伸司氏（認知症介護研究・研修仙台センター長・東北福祉大学教授）
	⑤「認知症のステージ毎に起こりうる生活障害の理解」 成本迅氏（京都府立医科大学大学院精神機能病態学教授）
	⑥「認知症とともに生きる当事者から学ぶ」 コーディネーター：成本迅氏 認知症当事者 支援者：石松友樹氏（向日市社会福祉協議会認知症地域支援推進員）

2 日 目	①「当事者・家族支援のための方策の理解」 1 事例からみる支援の分岐点 (京都社会福祉士会・京都府介護支援専門員会) ②「認知症の人とともに歩む関係をつくる」(ロールプレイ・グループワーク) (京都社会福祉士会・京都府介護支援専門員会) ③「当事者・家族支援のための方策の理解」 2 経済的支援、就労支援、生活支援、権利擁護、地域の社会資源 (京都社会福祉士会) ④「リンクワーカーとしての今後の活動を考える」(グループワーク) (京都社会福祉士会)
-------	--

6 受講料

無料

7 申込方法

- ・受講を希望する場合は、申込書（別紙様式）を所在又は在職している市町村認知症施策担当課までに送付してください。
- ・各市町村においては、提出のあった申込書を取りまとめの上、7月26日（金）までに京都府宛てファクシミリもしくは電子メールにて送付してください。

8 留意事項

- (1) 修了者には、京都府知事名による修了証を交付します。
- (2) 修了者は、「認知症リンクワーカー名簿」に所属名・連絡先、氏名が登載され、市町村に提供されます。
- (3) “認知症リンクワーカー”として活動いただくためには、研修修了後別途、所属市町村から認知症リンクワーカー配置届（別添）を京都府宛て提出いただく必要があります。
- (4) “認知症リンクワーカー”として配置いただいた場合、年2～3回程度開催しているフォローアップ研修を受講できます。

9 問い合わせ・申込先

＜制度に関すること・申込先＞

京都府高齢者支援課地域包括ケア推進担当 担当：中村主任

電話：075-414-4573 FAX：075-414-4572

Eメール：a-nakamura37@pref.kyoto.lg.jp

＜研修内容に関すること＞

一般社団法人 京都社会福祉士会事務局

担当：藤（ちきり）事務局長

電話：075-803-1574 FAX：075-803-1575